

## 通 信

\*\*\*\*\*

## 人生の起点とヤンバルの森！

\*\*\*\*\*

それは走馬灯のように思い浮かべることができる。琉大の学生だった45年前、国頭村与那の演習林に遊んだことを。当時、農学部の学生であった私は、高良鉄夫先生の指示を受け、九州大学から招聘で来られた安松京三先生をヤンバルへと案内した。首里のキャンパスから、今にも止まりそうなボロ車をなだめながらの3時間余の遠路であった。演習林の宿舎に着くと、先生は早速、夜間採集の準備とばかりに、少し開けた高台に真っ白なシーツを張り、ランプを架け、夜がふけるのが楽しみだと言わんばかりの表情をされた。

安松先生は応用昆虫学の泰斗でありながら、にこやかな笑顔と静かな語りで私たち学生に、昆虫の面白さを語って下さった。緑深い演習林の林道を、捕虫網を振りながら楽しそうに歩く先生の後ろ姿は、私の心に「知」への関心を高めることになった。もちろん、琉大でも多くの先生方から、沖縄の自然や文化等について学ぶ機会を与えられたことは、今ある私にとっても大きな財産となっている。しかし、宙に浮いたようなハタチの若者にとって、まだ見たことも行ったこともない「日本」からの大学人は、まさに「知の衝撃」であった。

それ以来、少しばかり勉学に目覚め、数年後に幸いにも大学で禄を食むことになったが、いつになっても演習林の林道での体験を忘れることはない。人生の起点を「ヤンバルの森」と決めつけ、30年余りヤンバルと関わってきたが、何かしらの成果や実績を残すこともできず、心苦しいものがある。しかし、多くの研究者や県民の、「ヤンバルの森」への強い関心が、やがては「自然遺産」や「国立公園」への道を切り開くことになると確信している。

ヤンバルの森はノグチゲラやヤンバルクイナの生息地でもあるが、イタジイに代表される原生的な照葉樹林それ自体が、生物多様性の高いホットスポットとして重要な場所であり、沖縄にとっては貴重な自然資源であろう。そんな自然の未来はすべて私たちの「価値観」にかかっており、「生殺与奪」は今や私たちの手にある、といって過言ではなかろう。同時に生き物と関わる学問や研究を目指す若者たちが、人生の起点となる多くの「知」と出会い、ヤンバルの森に「生与」たらん人財を期待するのは、舞台を去る者の身勝手だろうか。過日、久しぶりに訪ねた演習林の林道ではオオシマゼミのコーラスがとよみ、ありし日の青春が思い出された。

(沖縄国際大学 宮城邦治)

\*\*\*\*\*  
**沖縄生物学会第52回大会の開催のお知らせ**  
 \*\*\*\*\*

沖縄生物学会の第52回大会を下記の要領で開催いたします。会場は沖縄国際大学です。一般講演、公開シンポジウム、懇親会を予定しています。また別途、ご案内を差し上げますので、多数の会員のご参加をお待ち申し上げます。

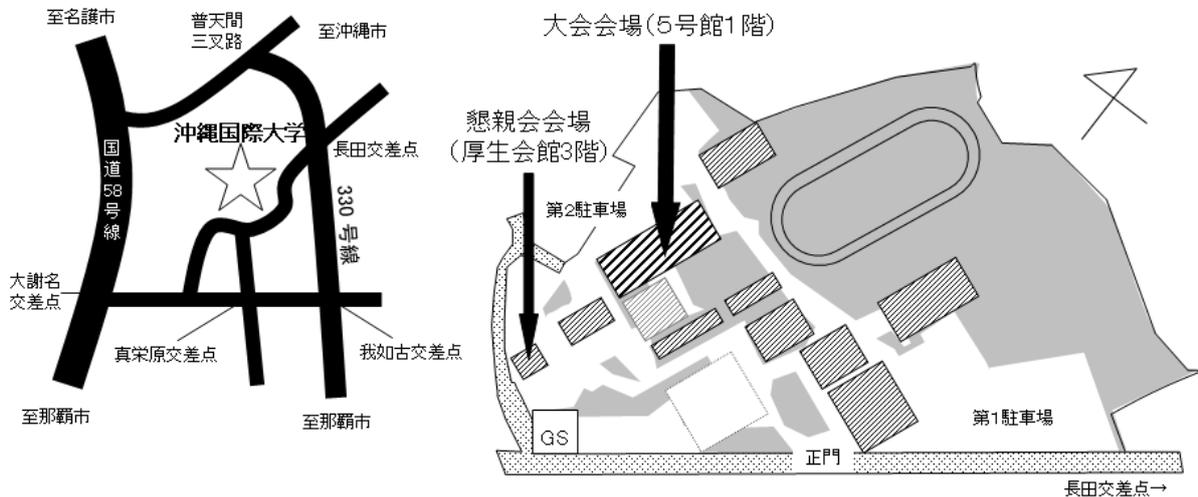
公開シンポジウムについてはただいま検討中です。シンポジウムのテーマに関してご意見、ご提案がありましたら、2015年1月末までに事務局までご連絡下さい。5月30日(土)の午後に高校生によるポスター発表を計画しております。高校生の参加費は免除されますのでふるってご参加ください。

**2015年 5月30日(土) 第52回大会：沖縄国際大学**

大会参加費：1,500円(学生 1,000円)

懇親会費 事前：2,000円, 当日：3,000円(学生 1,000円) **※事前申し込みがお得です!!**

5月30日(土)	受付	8:30~	沖縄国際大学5号館ロビー
沖縄国際大学	一般講演	9:00~12:00	沖縄国際大学5号館
	休憩(昼食)	12:00~13:00	
	総会	13:00~14:00	沖縄国際大学5号館
	池原賞表彰式	14:00~14:15	沖縄国際大学5号館
	ポスター発表	14:15~15:30	沖縄国際大学5号館ロビー
	一般講演	15:30~16:30	沖縄国際大学5号館
	公開シンポジウム	16:30~18:00	沖縄国際大学5号館
	懇親会	18:30~	沖縄国際大学厚生会館3階



**空港・那覇南部方面からのアクセス**

那覇空港	<b>バス</b> 所要時間:約10分/料金220円	那覇バスターミナル	<b>バス</b> 所要時間:約40分/料金570円~610円	沖縄国際大
	120 名護行き 30分間隔		110 長田興志川線(30分間隔) ■ バス停:沖縄国際大学前下車	
	<b>モノレール</b> (那覇駅下車) 所要時間:約11分/料金260円		27 屋慶名(やけな)行き(5~10分間隔) ■ バス停:長田下車、徒歩約7分	
	<b>タクシー</b> 料金/約2,500円		90 興志川行き(知花線)(15~30分間隔) ■ バス停:長田下車、徒歩約7分	
<b>高速バス</b> 料金730円	のりかえ	<b>バス</b> 料金160円	98 珙大北口行き(20~30分間隔) ■ バス停:沖縄国際大学前下車	
111 名護バスターミナル行き(30分間隔) ■ バス停:珙大入口下車		98 那覇バスターミナル行き(20~30分間隔) ■ バス停:沖縄国際大学前下車		

### 講演申込

沖縄生物学会大会での発表を希望される方は、口頭発表かポスター発表の別を明記のうえ、講演要旨を次頁の要領でまとめ、**2015年4月15日(必着)**までに下記メールアドレス宛にお送り下さい。なお、申込人数に応じて口頭発表とポスター発表の演題数を調整せざるを得ない場合も想定されるため、発表形式の変更をお願いする場合があります。**原則として電子メールでの受付(okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp)とします(詳細は講演要旨の作成要領をご覧ください)。**

**口頭発表は同一研究室からは原則1題のみとさせていただきます。**残りはポスター発表とします。発表者は原則会員に限ります。会員の皆様の日頃の研究成果を発表する場として積極的に御参加くださるようお願いいたします。口頭発表は原則として**パワーポイント(pptxもしくはpptファイル)によるデジタルプロジェクター**使用での発表とします。準備委員会の方でOSがWin7かMacintosh OSXのノートパソコンを準備いたしますが、ソフト等の不適合が起こることが懸念される方は、御自身のパソコンをご持参下さい。それ以外の設備を必要とする方は、予めお問い合わせ下さい。一般講演の講演時間は、質疑を含め**15分(講演12分、質疑3分)**です。

\*ポスターパネルの大きさは約180cm(縦)×90cm(横)です。この範囲に収まるように各自自由にポスターの大きさを設定ください。

### 講演要旨の作成要領と原稿送付方法

発表要旨原稿は、原則としてe-mailによる添付書類(MS-WORD)で受け付けることと致します(宛先 [okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp](mailto:okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp))。メールの件名を「**発表申込 発表者氏名**」として下さい。フォントはMS明朝体11ポイントとし、英文の場合はTimes New Romanとします。演題、演者、本文を含めて800文字以内とします。

E-mailがお使いになれない方は、印刷原稿でも手書き原稿でも受け付けます。原稿をこちらで打ち直しますので、上記e-mail原稿と同じ要領でA4版の紙に清書して下さい。図表は講演要旨の中では用いないように配慮して下さい。原稿を下記、沖縄生物学会第52回大会準備委員会宛で「講演要旨在中」として郵送していただくか、FAX(098-895-8576)でお送り下さい。

◆2015年4月下旬発行予定の**沖縄生物学会通信第96号**にプログラムを掲載するため、**発表の申し込みについては締め切り厳守**をお願いいたします。

### 懇親会申込

発表の有無に関わらず、懇親会に参加される方は2015年4月15日までに準備委員会宛にお申し込み下さい。懇親会への参加申し込みは大会当日にも受け付けますが、その場合、参加費は当日料金となりますのでご注意ください。

### <問合せ先>

沖縄生物学会第52回大会準備委員会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系事務室内  
TEL(098)895-8577 FAX(098)985-8576, E-mail: [okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp](mailto:okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp)

## ◆シンポジウム

シンポジウムのテーマに関しましてご意見・ご提案を受け付けております。2015年1月末まで事務局にご連絡ください。電子メールでのアイデアを歓迎しております。過去のシンポジウムの一覧を下記に示します。シンポジウムの最終的なテーマは、今後、事務局と沖縄生物学会の大会実行委員会で検討した後、次回の通信でお知らせする予定です。

2014年	琉球諸島の世界自然遺産登録に向けて ：琉球諸島の生物多様性と保全の現状	2008年	沖縄の生物：環境変化がもたらした影響
2013年	奄美・琉球の世界自然遺産への登録に向けて	2007年	外来種法の盲点： 見えない脅威と琉球列島の生物多様性
2012年	生物多様性地域戦略の実効性を高める手立てとは	2006年	レッドデータブックを考える
2011年	琉球の生物地理-今後の展開に向けて	2005年	琉球列島の生物研究の新たな展開
2010年	生物多様性地域戦略～戦略に資するモニタリングデータの効果的収集～	2004年	やんばるの危機 —マングースの北進とペット問題—
2009年	オキナワトゲネズミ <i>Tokudaia muenninki</i> ～アージの暮らせる森づくりに向けて～	2003年	サンゴ礁と人の関わり

### <連絡先>

沖縄生物学会第52回大会準備委員会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系事務室内  
TEL (098) 895-8577 FAX (098) 985-8576, E-mail: okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

\*\*\*\*\*  
**沖縄生物学会総会報告**  
\*\*\*\*\*

沖縄生物学会第51回総会が2014年5月25日（日）午後1時から、琉球大学理学部共通教育棟2-217教室において開催されました。参加者は31名でした。

安座間安史副会長による開会挨拶、日高道雄会長による会長挨拶の後、議長団（中本敦・竹村明洋）のもと、下記の報告、審議がなされました。

### 報告事項

- 1) 2013年度事業報告：須田彰一郎 庶務幹事  
・51回大会（今大会）の開催、通信91-94号（例年より1号多い）の発行について報告した
- 2) 編集報告：成瀬 編集幹事  
学会誌52号を発行した。
- 3) 2013年度 決算報告  
・決算報告：傳田哲郎 会計幹事  
・会計監査報告：水野 拓 監査員  
決算報告、監査報告とも承認された。
- 4) 池原先生記念事業関連  
・記念出版事業報告：横田昌嗣 記念出版委員会委員長  
動物目録は含めずに、既に投稿された原稿をもとに出版準備中である  
・池原記念賞 今後について：日高道雄 会長  
今年度池原貞雄記念賞の応募がなかったこと、それを受けて池原賞選考委員会で今後の池原賞のあり方について検討されたこと、募集要領の改訂案の骨子が先（5月19日）の評議員会で承認されたことが報告された。

主な改正点は、下記の2点であるが、規約および募集要領の改訂については、2014年度の池原賞選考委員会で議論し、評議員会での承認を得る。

- 1) 若手の研究奨励賞に加え、教育および環境の2部門を新たに設ける。教育・環境の選考基準としては出版物があれば評価対象とするが、ない場合でも活動の裏付けになるような資料を基に判定する方向で検討する。
- 2) 選考委員会の構成を、副会長のうち1名、および評議員会により選出された若干名を含む5名程度とする。委員長は互選により決定する。

新たな制度では選考委員は、副会長のうち1名となるため、場合によっては教育部門の選考が手薄になる可能性があるとの意見があった。新制度で教育分野での基準を決めスタートしてみることとなった。

## 審議事項

- 1) 役員・評議員の提案 須田彰一郎 庶務幹事  
別添の2014/2015年度役員案が承認された。これを受けて会長は幹事を委嘱することとなる。
- 2) 2014年度事業計画
  - ・会誌発行： 成瀬 貫 編集幹事  
次号は2015年1月いっぱいまでの受理論文を掲載予定。現在6編決定。まだスペース有。
  - ・通信発行： 須田彰一郎 庶務幹事  
通常通り2号発行予定（11月・4月下旬～5月上旬に予定）
  - ・第52回大会： 山川彩子 庶務幹事  
次回大会は 沖縄国際大学を会場として実施する。時期は5月30日（土曜）を決定。  
2014年度事業報告は了承された。
- 3) 2014年度予算（案）： 傳田哲郎 会計幹事  
例年通りの予算を計上。繰り越しおよび雑収入を含めて歳入計画としている。  
植物目録は、在庫が尽きる寸前であるため、増刷が必要であるが案には含めていない。  
2014年度予算案は承認された。
- 4) 会則の変更について： 日高道雄 会長  
運営の円滑化を図る目的で会則第13条に下線部をあらたに追加する。  
評議員、会長、副会長および各委員会委員長は評議員会を構成する。評議員会は本会の事業を遂行するに必要な事項を審議する。  
承認された。
- 5) その他  
学会員メーリングリストについて： 富永 篤 庶務幹事  
現段階では、実質的に機能するほどの人数が登録されていない。  
登録に必要なアドレスへ必要な情報を送っていただくことで学会からの情報提供がスムーズにおこなえる。メール宛先のアドレス情報は学会HPにて確認してください。議長団解任： 須田彰一郎 庶務幹事  
閉会挨拶： 当山昌直 副会長

\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会評議員会報告

\*\*\*\*\*

沖縄生物学会評議員会が2014年11月10日(月)午後7時から、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者は16名でした。

### 報告事項

#### 1. 自然史博物館設立要請シンポジウムについて

平成26年12月6日(土)13:00-16:30に沖縄県立博物館・美術館講堂で開催される自然史博物館設立要請シンポジウムについて報告がありました。本学会は共催団体となること、本学会の当山昌直副会長が「沖縄の設立要請の経緯と期待」という演題で講演されることが報告されました。

#### 2. 池原賞選考委員会について

平成26年8月18日(月)に開催された2014年度第1回池原賞選考委員会について報告がありました。日高会長もオブザーバーとして参加されたこと、互選により当山昌直副会長が委員長に選出されたこと、池原賞規約の改定について審議が行われたことが報告されました。

#### 3. 理科教育連携WGについて

平成26年9月4日18:00-19:45分に第1回理科教育連携WGが開催されたことが日高会長より報告された。WGでは本学会として理科教育連携として、どのような活動が可能であるか、望ましいかが議論され、(1)高校生のポスター発表を促進する計画、(2)大会時に理科教育連携のミニシンポを開催する計画、(3)沖縄の生物の写真入り副読本または画像データベースを構築する計画、(4)研究者の研究テーマを高校の実習を念頭にして教材化または実習書を作成する計画が検討されていることが報告されました。

### 審議事項

#### 1. 第52回大会について

第52回大会の準備について審議され、平成27年5月30日(土)に沖縄国際大学5号館で開催されることが了承されました。詳細は2-3ページをご覧ください。

#### 2. 池原貞雄記念賞の表彰規約の改訂について

選考委員会で作成された規約の改定案について当山委員長より説明がありました。改定案には、研究奨励部門に加えて教育功労部門・環境保護部門の2部門を設けること、選考委員会は学会副会長1名に加え、評議員会により選出された若干名から構成されること、表彰者は選考委員会が審議した結果を評議員会の議決を経て決定されることが盛り込まれており、評議員会で了承されました。推薦書の様式案についても説明があり、評議員会で出された意見を踏まえ応募書類の様式を整備することになりました。8ページをご覧ください。

#### 3. 会則改定の必要性

評議員会の構成員に関する会則について改定する必要性について諮られました。これについては現状の会則で対応可能であるという結論に達しました。評議員会は、評議員、会長、副会長および各委員会委員長により構成され、幹事は事務局として参加する。監査員は、監査報告を行う評議員会に出席する。評議員会は、構成員の2分の1以上の出席によって成立する(ただし、委任状を含めることができる)。以上の理解が確認され、第23条について「評議員会は会長が召集し、評議員会構成員の2分の1以上の出席によって成立する」の下線部を挿入することを次回総会に提案することとなりました。

\*\*\*\*\*

## 第6回沖縄生物学会池原貞雄記念賞候補者の募集

\*\*\*\*\*

第6回沖縄生物学会池原貞雄記念賞の候補者を募集します。規約にあるとおり、本賞は沖縄の生物の研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、および将来の成果が期待される若手会員に対して贈られるものです。会員の皆様からの積極的な他薦または自薦をお願いします。今回改定された、池原貞雄記念賞表彰規約は次ページに記載しています。受賞者の決定は選考委員会で行われ、沖縄生物学会大会開催時に授賞式を行います。

### 池原貞雄記念賞候補者推薦要領

#### 1 推薦方法

別紙様式の表彰候補者推薦書(様式1)、推薦理由書(様式2)、履歴書(様式3、個人推薦の場合のみ)、団体の概要(様式4、団体推薦の場合のみ)各2部を添えて、沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局あて郵送にて提出する。

#### 2 推薦人員

(1)各会員が推薦できる人数は、一部門の1名または1団体とする。

#### 3 候補者の例示

(1)表彰規約の若手とは、おおむね45歳以下をいう。

(2)表彰規約の長年とはおおむね10年以上とする。

(3)表彰規約3の2)の(1)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア)沖縄の生物に関する論文、講演などの実績があるもの。

(4)表彰要項3の2)の(2)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア)沖縄の生物・環境に関する教育・普及啓発活動に実績があるもの。

(5)表彰要項3の2)の(3)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア)沖縄の自然環境の保全に関する活動実績(書籍、事業、イベントなど)があるもの。

#### 4 候補の対象としない者

(1)過去に当記念賞を受賞した者。

#### 5 募集

沖縄生物学会通信および学会ホームページにて公募する。様式はホームページからダウンロードできる。

#### 6 応募書類の送付先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科内 沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局 宛

#### 7 留意事項

受賞者には沖縄生物学会大会授賞式で自らの研究または活動の概要を含めた挨拶をしていただきます。

#### 問い合わせ

本件に関する問い合わせは、学会事務局へメールにてお願いします。

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系 日高道雄

Tel: 098-895-8577, Fax: 098-895-8576 E-mail: hidaka@sci.u-ryukyu.ac.jp

## 池原貞雄記念賞表彰規約

2009年11月17日制定

2014年11月17日改訂

### 1 趣旨

沖縄生物学会(以下、学会)の発展と沖縄の野生生物の基礎研究と保全、人材育成に多大な貢献をされた故池原貞雄初代会長を記念して、沖縄の生物研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、あるいは将来の成果が期待される若手会員に対して、その功績をたたえ学会が表彰する。

### 2 表彰の時期

毎年の学会大会の日に授賞式を行う。

### 3 表彰者の範囲

1) 表彰者は原則として、個人の場合は学会会員(授賞式の時点で会員歴が1年以上)であること、団体の場合は会員3名以上が推薦する団体であること。

2) 表彰の対象は、次の各号に一に該当する個人または団体とする。

(1) 研究奨励部門 沖縄の自然もしくはその保護に関し顕著な貢献が期待される研究を行った若手研究者。

(2) 教育功労部門 長年にわたり沖縄の自然もしくはその保護に関する教育実践、普及等に従事し、顕著な功績のあった個人または団体。

(3) 環境保護部門 長年にわたり沖縄の自然環境保護に関する活動を継続し、顕著な功績のあった個人または団体。

### 4 表彰者の人数

原則として各部門それぞれ1名または1団体とする。

### 5 表彰者の推薦

表彰者の推薦は、別に定める池原貞雄記念賞候補者推薦要領により、学会会員の自薦または他薦とする。

### 6 表彰者の決定

表彰者の決定は、上記3の2)の候補者から池原貞雄記念賞選考委員会(以下、選考委員会)が行い、学会評議員会の議決を経て決定する。

### 7 選考委員会

1) 選考委員会委員(以下、選考委員)は、学会副会長1人、ならびに評議員会により選出された若干名とする。

2) 選考委員の任期は2カ年とし再任を妨げない。

3) 選考委員会は学会会長が招集し、選考委員長が会議を進める。

4) 選考委員長は委員の互選による。

5) 選考委員長が会議に参加することができないときは、選考委員長があらかじめ指名した委員が会議を進行する。

6) 選考委員に欠員が生じた場合には、新たな選考委員を選出する。その際選出された後任の任期は前任の残任期間とする。

7) 選考委員会は、必要に応じて第三者の意見を求めるなどして、審査の公平を期するものとする。

### 8 表彰の方法

学会会長から表彰状と副賞(記念品)を授与する。

### 9 事務局

本記念賞の事務局は、沖縄県中頭郡西原町千原1番地、琉球大学理学部海洋自然科学科内の学会事務局内に置く。

\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会役員一覧表

\*\*\*\*\*

沖縄生物学会の会長，副会長，監査員および評議員が下記のように選出され，前回の総会で承認されました。任期は2年間で，2016年5月の総会までです。

会長 日高 道雄(琉球大学)  
副会長 豊島 正憲(沖縄生物教育研究会長)  
当山 昌直(沖縄県教育長文化財課)  
監査員 盛口 満(沖縄大学)  
齋藤 由紀子(琉球大学)  
水野 拓((株)イーエーシー)

### 評議員

大学関係 新垣 裕治(名桜大学) 照屋 建太(沖縄キリスト教学院大)  
研究機関 山崎 仁也(県立博物館・美術館) 阿部 篤志(沖縄美ら島財団)  
長田 智史(沖縄県環境科学センター)  
行政機関 城間 恒宏(沖縄県教育庁) 阪口 法明(那覇自然環境事務所)  
高校関係 大城 直輝(那覇高校) 知花 史尚(総合教育センター)  
大隅 大(名護高校)  
中学校関係 平敷 りか(琉球大学附属中学校)

池原貞雄記念賞選考委員会委員長 当山 昌直(沖縄県教育長文化財課)  
池原貞雄記念出版委員会委員長 横田昌嗣(琉球大学)  
自然史博物館設立要請委員会委員長 当山 昌直(沖縄県教育長文化財課)

庶務幹事 須田彰一郎(琉球大学) 中村 崇(琉球大学)  
富永 篤(琉球大学) 戸田 守(琉球大学)  
伊澤 雅子(琉球大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)  
会計幹事 傳田哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)  
編集幹事 成瀬 貫(琉球大学) 伊藤 竜一(琉球大学)  
編集委員 久保田 康裕(琉球大学) 太田 英利(兵庫県立大学)  
大瀧 丈二(琉球大学) 今井秀行(琉球大学)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い，ご意見，活動，紹介したい内容などがございましたら，事務局にお知らせいただくか，学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは，[okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp](mailto:okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp) です。

## 沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会沖縄営業所 所長 小林宏行  
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政  
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也  
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

\*\*\*\*\*

### 原稿募集のお知らせ

これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこで、第45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、第45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

沖縄生物学会編集委員会

\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

生物系事務室 TEL:(098)895-8577

庶務 中村 崇 (098)895-8897

FAX:(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

振替口座 郵便:02030-8-30433 沖縄生物学会

銀行:琉球銀行宜野湾支店 普通051-065沖縄生物学会